

「赤ちゃん駅」増設を推進せよ

【答】既設場所の周知を図ります
【問】乳幼児を連れての方が外出中に気楽に立ち寄り、おむつ替えや授乳を不安なくできる清潔で快適なスペースを、市の全庁舎と二つのホールに設置し、子育てへの安心環境を作らなければならない。



無会派 田尾 成



本庁舎1Fのベビールーム

【その他の質問】
●国生み観光灯籠の設置拡大を
●高山最終処分場の今後

現在、市の2庁舎と保健センター、図書館などにおいて、授乳、おむつ交換できるスペースを設置しています。市民の皆様が目につくやすい場所に掲示板を設置し、利用しやすくしています。ほかの公共施設へのベビーカーの増設、民間事業者への登録施設の募集など「赤ちゃん駅」設置の取組を検討します。

第92回定例会 議決結果一覧

議長(岬光彦)は表決に加わらない。しかし、賛否同数時のみ表明し、議案の可否を決定する。議長が欠席の場合、副議長が代理となる。(賛成『○』、反対『●』、退席『△』、欠席『欠』)

Table with columns for council members and rows for agenda items like 'Japan's participation in the ban on nuclear weapons' and 'Nuclear abolition'.

※請願2号は賛否同数となったため、議長採決となった。

全会一致で可決されたもの

※表記は、正式議案名ではありません。お問い合わせは、議事事務局(☎64-2502)までお願いします。

- 【総務文教常任委員会所管】
議案32号 指定管理者の指定手続等条例の改正
議案33号 税条例の改正
議案34号 国保条例の改正
議案42号 手数料条例の改正
【産業厚生常任委員会所管】
議案31号 ジビエ処理加工施設の設置・管理条例
議案35号 福祉医療費助成条例の改正
議案36号 介護保険条例の改正
議案37号 小型動力ポンプ付軽四輪積載車購入契約
議案38号 (仮称)新岩屋ポートビル新築工事請負契約
議案39号 野島断層保存館等建物取得契約

- 【補正予算審査特別委員会】
議案40号 令和3年度一般会計補正予算(第2号)
議案41号 令和3年度温泉特別会計補正予算(第1号)
議案43号 令和3年度一般会計補正予算(第3号)
【人事案件】
同意2号 教育委員の任命同意(西川 玉士 氏)
【議会提出】
発委1号 「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」の各施設で、屋根・壁・床の資材に淡路瓦の使用、推奨を求める意見書
発委2号 市議会会議規則の改正

討論

議案40号 一般会計補正予算第2号

賛成 初谷 宏

コロナ禍の中、家計の経済的な負担を軽減するため、全市民に対し1万円の現金給付を行うほか、観光施設の改修や再整備、町内会等の活動支援など、地域住民の安全安心な暮らしを守るものから、コロナ収束後を見据えた地域整備や地域活性化まで、地域の実情に応じたきめ細かな予算が措置されている。

キャッシュレス決済の導入を

【問】キャッシュレス決済を促進する上で、行政サービスをどのように反映させるのか。
【答】夏頃に端末機導入します
本庁舎会計課に窓口端末機を設置して、夏頃を目途にキャッシュレス決済導入に向けて準備を進めています。



住民目線の会 石岡 義恒

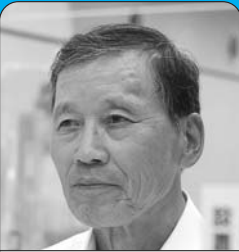


導入する端末機のイメージ

【その他の質問】
●ポストコロナの観光振興策は
●夢舞台サステイナブルパークの開発は
立てることのできることを考えています。
【問】キャッシュレス決済方法の内容は。
【答】スマートフォン等で利用できるQRコード決済をはじめ、クレジットカード、電子マネー、交通系ICカードなど全27種類で多彩な決済方法が使える予定です。

淡路市仕上げのイメージと具体策

【問】西海岸リゾート構想の推進と
【答】合併淡路市の完成を目指します
4年ごとに目標を定め、街づくりに取り組んできました。今後の4年で合併淡路市の完成を目指します。仕上げるイメージは「いつかきつと帰りたい街づくり」に集約されます。これまで積み上げてきたものを継続し、躍動感と魅力ある街づくりを推進します。



一志会 池本 道治



いつかきつと帰りたい街づくり

市の目指す街づくりのイメージ

【問】市長5期目、淡路市の仕上げを言われるが、そのイメージと具体策は。
【答】民間活力による観光施設が整備され、それが淡路の海・山の自然と相まり来島者も増え、まさに西海岸リゾートです。
【その他の質問】
●淡路島一市への仕掛け
●一宮地域西浦県道の安全対策
●北淡路国営パイロット事業再整備

近年の漁業に対する保護策は

【問】コロナ禍で魚が売れず、魚価の低迷状態が続いている。不安定な魚価への対応策は。
【答】支援金活用と漁量増加に努めます
令和元年と令和2年の魚価を比較すると、真鯛、ヒラメ等の価格は約3割から5割安くなっており、厳しい状況と認識しています。魚価下落への対策として収入が減収となった場



一志会 太田 善雄



今安価なイキイキ真鯛

【その他の質問】
●コロナ禍での観光施策
合、漁業共済金や県民の支援金制度の活用など、漁業者の経営安定に留意していきます。
【問】やせて栄養不足の漁場で、魚種漁量の増加対策は。海底耕うんの結果も良いようだが。
【答】気候変動による水温上昇、植物性プランクトンに必要な窒素やリン等の栄養塩類不足などが魚量の減少要因となっており、アオリイカの産卵礁の設置、海底耕うん等の事業を継続し、漁量増加に努めます。